

報道関係各位

平成 28 年 12 月 1 日
野球ボール工業会

「次世代野球ボール」を開発致しました

軟式野球ボール 100 年の歴史を塗り替える、革新的なボールです

公益財団法人全日本軟式野球連盟と野球ボール工業会は「次世代野球ボール」を開発致しました。コンセプト・特徴・スペック等は（公財）全日本軟式野球連盟が発表された通りです。今後の予定については下記の通りです。

<発売時期>

M号：平成 29 年（2017）12 月頃を予定しています。

J号：平成 30 年（2018）後半を予定しています。

発売日及び価格等の詳細は、野球ボール工業会各社にお問い合わせ下さい。

<問い合わせ先>

（公財）全日本軟式野球連盟 <http://jsbb.or.jp>

担当者：吉田麻実 TEL：03-3404-8831 e-mail：zennanren@jsbb.or.jp

野球ボール工業会

ナガセケンコー株式会社 <http://www.nagase-kenko.com/>

担当者：橋本茂樹 TEL：070-1438-1829 e-mail：s.hashimoto@nagase-kenko.com

ダイワマルエス株式会社 <http://www.daiwa-maruesu.jp/index.html>

担当者：穴井政美 TEL：090-8403-7336 e-mail：anai@daiwabo.co.jp

内外ゴム株式会社 <http://www.naigai-rubber.co.jp/>

担当者：柴田静男 TEL：080-2458-6727 e-mail：s-shibata@naigai-rubber.co.jp

トップインターナショナル株式会社 <http://www.top-ball.co.jp/>

担当者：北野健二 TEL：090-7636-8797 e-mail：top-kitano@basil.ocn.ne.jp

軟式ボールの新意匠(次世代ボール)について

記者会見資料

1・軟式野球の位置付けと軟式ボール

- ① 軟式ボールを使用して、野球を国民全般に普及し、その健全な発展を助成振興し、さらに世界に野球を普及啓発できるべく、人材育成を図り国民体力の向上及びスポーツマンシップの浸透を図ること。
- ② 軟式野球は、その特性を生かし青少年の体力の向上、他者を尊重し共同・協力の精神、公正さを育む人格の形成と変貌する時代とグローバルな社会に対応出来る人材を育成することを目的とする。
- ③ 軟式ボールは安価で安心して、だれでも、いつでも、どこでも楽しむことができる。

2・軟式野球ボールの変遷

- ① 初代(昭和13年～昭和25年) 12年間 菊型健康ボールとして、全国統一ボール
- ② 2代目(昭和26年～昭和34年) 9年間 金型技術革新により縫い目のできたボール
- ③ 3代目(昭和35年～昭和43年) 9年間 丸デンプルの間に星を入れたボール
- ④ 4代目(昭和44年～昭和59年) 16年間 丸デンプルの中にJSBBを入れたボール
- ⑤ 5代目(昭和60年～平成17年) 20年間 ゴム質を変えて飛ぶようにしたボール・楕円のデンプル
- ⑥ 6代目(平成17年～ 現代) 縫い目を丸みをおびた形・デンプルも小円を構成するデザイン

3・軟式野球の時代変貌

- ① 野球に対する戦略的多様性と競技へのこだわり(低バウンドのボール)
- ② 用具・防具の安全性と進化(耐久性が良い)
- ③ 小学・中学生に係る昭和26年と現在の平均身長と体重の推移は、次のとおり

別	身長		体重	
	伸び	増	増	増
小学生	13.2cm	9.1%up	9.4kg	24.6%up
中学生	16.9cm	10.1%up	14.2kg	26.1%up

4・新ボールの基本コンセプト

※ 軟式ボールの安全性を軸に、時代の変貌に柔軟に対応し、軟式野球競技者・愛好者が各ステージにおいて軟式・硬式の相互移行を図りやすくし野球文化の維持・拡大に寄与する。

5・新ボールの呼称 「M号(メジャー) と J号(ジュニア) とする」

6・ボールの規格値の変更(詳細説明は別表)

現行ボール規格値					新ボール規格値				
呼称	大きさ	重さ	反発高さ	圧縮荷重	呼称	大きさ	重さ	反発高さ	圧縮荷重
A号	72±0.5mm	136±1.8g	95±10cm	26^30kgf	M号	72±0.5mm	138±1.8g	80±10cm	36^40kgf
B号	70±0.5mm	135±1.8g	90±10cm	30^33kgf					
C号	68±0.5mm	128±1.8g	75±10cm	22^31kgf	J号	69±0.5mm	129±1.8g	70±10cm	27^31kgf

7・ボールの意匠変更

- ①バウンドを下げると飛ばなくなるが、新意匠の効果と圧縮荷重を上げ(硬くして)変形エネルギーを抑えることで飛距離をのばす
- ②新意匠効果のポイント(飛行性能に優れる意匠開発)
 - ・ポイントⅠ 縫い目の形状と数の変更(硬式と同じ入りの字を採用・88個から92個)
 - ・ポイントⅡ 全表面積に対してディンプル面積占有率の変更(70.2%から80.1%)
 - ・ポイントⅢ 消耗度合を判断するスリップマークを採用

8・新ボールと他ボールの仕様比較

名称	単位	M 号	J 号	H 号	硬式球	リトル硬式球
重量	gr	136.2~139.8	127.2~130.8	142.2~144.8	141.7~148.8	141.7~148.8
径	mm	71.5~72.5	68.5~69.5	71.5~72.5	72.93~74.84	72.93~74.84
円周	mm	227.4~230.6	217.6~220	227.4~230.6	229~235	229~235
反発高	cm	70~90	60~80	50~70	48~55	45~50
反発係数		0.3~0.5	0.3~0.5		0.41~0.44	0.41~0.44
圧縮荷重	kgf	32~36	22~27	255	293	300
衝撃力	kgf	455	415	2,900	2,980	2,910

9・新ボールのフィールドテストに対する結果

対象		現行球との比較	テスト結果
中学生	投手	優れている	軽い・コントロールしやすい・投げやすい・肘肩に重みは感じない
	野手	同等以上	ゴロの球足は少し速い・バウンドは少し低い・打球が伸びる
	打者	同等以上	打撃時の感触はやや優れている
一般	投手	優れている	コントロールしやすい・肘肩に重みはそれほど感じない
	野手	同等以上	バウンド高さが少し低い
	打者	同等以上	打撃時のバット感触がよい

10・新ボールの競技効果と社会的効果

区別		発現効果
効果	競技的	限りなく野球の基本的投球方法・守備体制・打撃姿勢が一元化する効果がある。
	社会的	国際大会、世界への野球普及(安全・安価・施設利便)推進等につながる。

実証に基づく解析 (法政大学 理工学部 機械工学科 新井研究室 新井教授)

解析の目的「バウンドを下げたのに、なぜ飛ぶのか？」

解析の結果「反発係数から見ると飛ばないと判断しがちだが、打った瞬間から、その後の変形量も少なく、球状への戻り時間もはやい。つまり空気抵抗がかなり抑えられる。結果、反発係数の低さの球状への戻りやすさがカバーし飛ぶボールとなっている。